

日本脊椎脊髄病学会 平成 26 年度第 2 回国際委員会議事録

平成 26 年 5 月 22 日 (木) 7:30-8:30

ポートピアホテル 560 会議室

出席：松山幸弘担当理事、湯川泰紹、根尾昌志委員、矢吹省司委員、長谷川和宏委員、田中雅人委員、富士武史アドバイザー、寒竹司アドバイザー（山口大学）

欠席：金山雅弘委員、川原範夫委員、小西宏昭委員、豊根知明委員、岩崎幹季アドバイザー

1. English Poster Session (EPS) および English Poster Award (EPA) の運営について

次回学術集会より、English Poster の演題募集を一般演題と統一し、査読についても一般演題同様のプロセスに組み入れていただくよう山口大学に依頼した。EPA の採用、最終選考は従来通り採点をもとに国際委員会で行う。また、外国からの参加者の居場所を確保するために、同一会場で連続する英語セッションもしくは英語スライドの採用についても検討していただくように要請した。

2. トラベリングフェロー訪問先の拡大について

訪問先をアジアパシフィック（オーストラリア、カナダなど）から広げていく方針に従い、訪問先となる施設・指導医との信頼関係構築に努める方向となった。中国についても日本とのつながりの深い田 (Tien) 先生 (COA 会長) から再開方向。

訪問先医師の高齢化が進んでおり、次なる候補先の選定も持続的に必要。

3. トラベリングフェローのアワード冠名について

予算の学会本体への移行後は、協賛企業にはトラベリングフェローのアワード冠名にてではなく、全体への寄付金により謝意を表す方向。

4. トラベリングフェローの相互受け入れについて

Dr. Huang 台湾脊椎外科学会会長より、台湾のトラベリングフェローを受け入れてほしいとの要請があり、理事会 (5/23) での承認後に具体的に準備する運びとなった。

平成 27 年度より年間 2 名程度を 2 週間、国際委員会委員の所属施設を中心に 2 か所 (2 地域) で受け入れる方向。

5. アジアなどの発展途上国から日本へ留学希望の際に、JSSR からの資金援助はできないか？との問い合わせがよくある。

これに対しては多くの留学生の受け入れが日本各地で行われており、国際委員会としては予算もなく対応不能であるため、窓口を学会全体として対応していただく方向へ

6. 次回 2015 JSSR の招待医師候補

- 韓国の会長 (アライアンス) Prof. Ki-Tack Kim (Kyunghee University)
- 台湾の会長 (アライアンス) Prof. Huang, Tsung-Jen
- 中国 (COA) の会長 Dr. Tian Wei (Beijin Jishuitan Hospital)、5/22 講演前に面談し travelling fellow 受け入れを快諾いただいた。
- タイの Dr. Wiwat Wajanavisit (Prof. Wichien の後継者、現在の受け入れ担当 Dr)
- その他 2-3 人 : Prof. Chung (韓国) を含めて、国際委員会委員に推薦いただく方向へ

7. その他

- 2015 年 Spine Across The Sea(ハワイ島)開催への国際委員会としての協力の確認
- 2016 年 Spine Week (Euro Spine 中心、5 月にシンガポールで開催) : JSSR に対して参加協力要請があり、JSSR の関与の在り方について情報を得ながら検討していく方向となった。